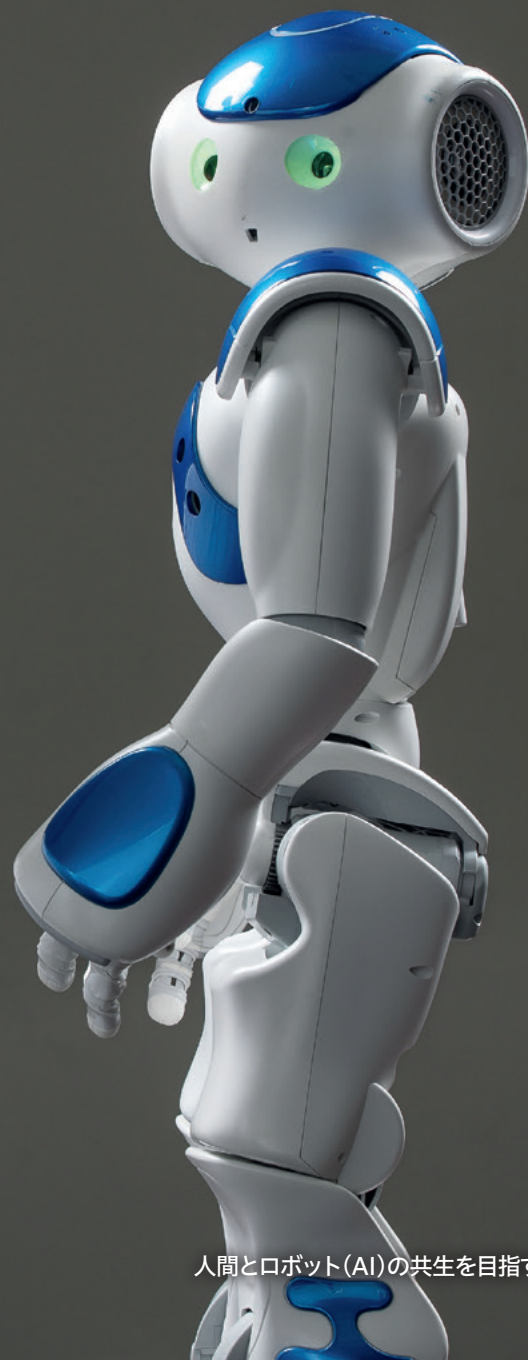


会報 こぶし

北陸電波学校
北陸電波専門学校
北陸電波高等学校
金沢工業大学附属高等学校
金沢工業高等専門学校
国際高等専門学校
金沢工業大学

VOL.
73
2024.1



学園の教育が DXで変わっていく

コロナ禍前のイベントが復活

こぶし会に新たな秋がやってきた

令和5 (2023) 年度全国支部代表者会議

効果的な連絡手段の検討を

金沢工業大学と国際高専では、教育DX[※]の取り組みが加速しています。教育現場でどこまでDXが進んでいるのか。学園教育の最前線をレポートします。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、デジタル技術の活用を通して生活やビジネスを変革すること。



学園の教育が DXで変わる

■ 金沢工業大学の教育 DX

01 数理データサイエンス教育の充実

1年次からAI・IoTの基礎を学んでいきます。学修した内容は、問題発見解決のプロセスを学ぶ「プロジェクトデザイン教育」で活用されます。

また、デジタル技術を活用した学習支援ツールとして、学修支援ポータルサイト「eシラバス」などを用意しています。

社会人向けのリカレント教育「情報技術教育」には3コース13科目があり、1科目(100分×7回)から受講が可能で、学生と社会人とが一緒に学ぶ機会を設けています。



テーマに沿ってディスカッションする学生

02 ビッグデータを使った学生の学修支援

大学入学から卒業までを一貫して総合的に支援することを「エンロールマネジメント」と呼びます。その支援をする上で、金沢工業大学では平成16(2004)年から蓄積してきた3万4,000人の修学データベースを活用しています。

AIによる解析に基づき、学生一人一人の得手不得手を把握することで、学習でつまづきそうなポイントをあらかじめ予測します。そして、このデータを活用し、学修アドバイザーが学修支援に当たります。



学生の弱点をAIが分析した上で、学修アドバイザーが指導に当たります



国際高専の教育 DX

01 | デジタル機器利用環境が整う

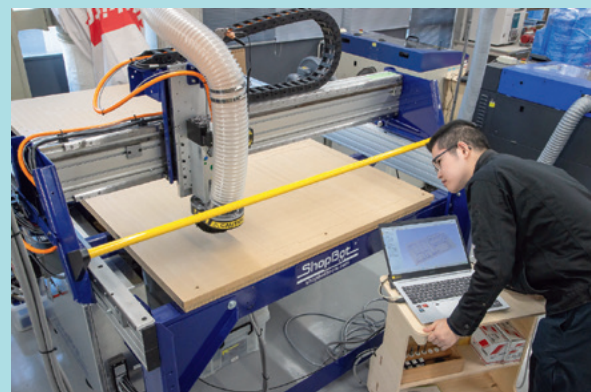


モーションキャプチャーを導入

国際高専では、少人数のメリットを生かしたデジタル機器利用環境が整えられていることが特徴で、全学生が作成したデジタルデータを、最新の3Dプリンターやレーザー切断機、CNC旋盤等を使って複雑な部品を短時間に製作することができます。

白山麓・金沢の両キャンパスに多種類のデジタル機器が備えられ、特に金沢キャンパスでは校舎の改装も行われました。

02 | 実践型教育のDXが進展



図面通りに正確に木材をカットします

学生は、プロトタイプを効率的に製作できることから、より多くのアイデアを形にすることができます。「デザイン思考+製作」プロセスを繰り返し経験することで、五感と創造性を研ぎ澄ましていきます。

まさに、「洞察する力」「観察する力」「共感する力」を育てる国際高専の「エンジニアリングデザイン教育」そのものがデジタル化により進化しており、新しい価値を創出する「考える力の育成」によって、新時代を生きる学生の可能性を引き出していきます。

03 | オンラインとデジタル機器をフルに活用

デジタル機器を活用した「時間と場所の制約を超えた学びの場」の創出を目指しています。

例えば、100インチの大型ディスプレイ2枚と音響システムで構成する「等身大接続システム」では、国内外の他大学や企業などとワークショップを開くことができます。

さらに、仮想空間の中で、事故を予防する安全教育を実施したり、授業の質問を受け付けたりするなど、デジタルコンテンツならではの授業や実験環境を整えています。



アバターロボットで授業に参加することができます

CASE 01

情報フロンティア学部 メディア情報学科 4年 本間 尋斗さん

仮想空間で気分転換を

本間さんは令和5(2023)年10月20日から3日間、金沢市の石川県政記念いのき迎賓館で開かれた「金澤月見光路2023」で、プロジェクトマッピングを担当しました。

ストリートピアノの演奏に合わせて建物に投影される映像が変化するリアルタイム生成型のデジタル空間を創り出し、多くの来場者を楽しませました。

ピアノは誰でも演奏することができ、3日間で約360人が参加しました。本間さんは「特に小さなお子さんがピアノをタッチする姿には感動を覚えた。デジタルの可能性を感じた瞬間だった」と話します。

自身の研究では、MR※デバイスを用いた仮想空間を制作しました。家にいながらにして、窓を開けるたびに景色が変わるという趣向です。

景色には「街並み」「海」「森」の3パターンがあり、ランダムに現れる

※ MR(ミクスリアリティ)とは、複合現実のことです

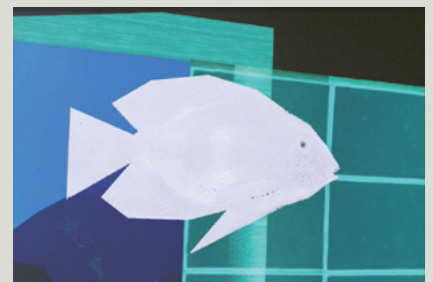
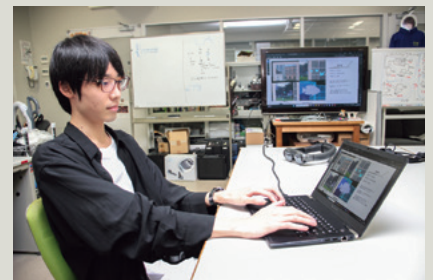


「金澤月見光路2023」でのプロジェクトマッピング映像をご覧ください。

仕組みになっています。

この仮想空間を制作したきっかけは、新型コロナウイルス感染症の流行でした。外出できない中、部屋にいる時間が増え、気分転換したいと思ったことが動機となりました。

現実と仮想の空間がつながるMRデバイスを使ったことで、3Dには限界がないと感じた本間さん。「自分の発想次第で、どんなことも実現できる」と話し、仮想現実がエンターテインメント性を高め、もっと気軽に楽しめるものになってほしいと願っています。



上／仮想空間の開発に取り組み本間さん 下／MRデバイスの仮想空間で海のステージに登場する魚



石川県政記念いのき迎賓館に映し出されたプロジェクトマッピング

CASE 02

工学部 情報工学科 山本 知仁 研究室

コミュニケーションロボットを開発へ

山本研究室では、「いかにして人と人とのコミュニケーションを円滑にするか」を研究テーマとしています。

例えば、学生がグループワークをする際、円滑に議論が進んでいるかどうかを予測するため、スマートフォンに内蔵されている加速度センサーの値を利用します。

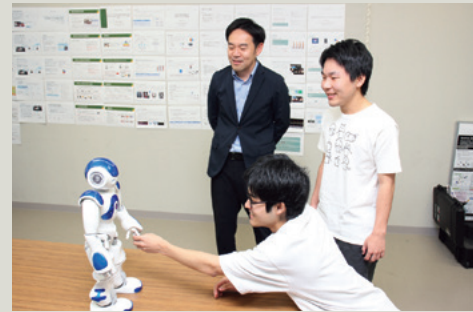
うまくいっているグループほど身振り手振りがあることから活動量が多く、少なければ活発に議論はされていないと予測できるそうです。

最近の解析では、どのような身体動

作があるといいのかが分かってきていて、説明を受けている時にうなづく動作があり、均等に発言していると数値が高い傾向にあります。

山本教授は「AIで数値の伸びを予測して、伸びないようにしたら、“教員が声をかけてください”と指示する支援システムを開発している」と語り、その役割をロボットに委ねようとしています。

この研究の完成形は、コミュニケーションロボットが人間のコミュ



コミュニケーションロボットは日々進化しています

ニケーションを円滑にすることです。人間の表情や動作、発言頻度などを数値化することで、実現する日はそう遠くないといいます。山本教授は「人間に寄り添うことができるロボットになれば」と夢を描きます。

CASE 03

工学部 ロボティクス学科 鈴木 亮一 研究室

運動機能を維持・向上させるシステムの開発

近年、人口の高齢化に伴い、パーキンソン病の患者が増えています。鈴木研究室では、ゲームを楽しみながら、運動機能を維持・向上することができるVRシステムの開発に取り組



バットの代わりにコントローラーを振ります

んでいます。

これまでも脚力低下の予防や立ったり座ったりを繰り返すトレーニングシステムを開発してきましたが、立ち上がれない高齢者や患者さんもいることから、令和5(2023)年3月から座った状態でも体を動かせるコンテンツの制作に取り組みました。

制作したのは、飛んでくる果物を切る「居合切りゲーム」と、バットを振ってホームランを目指す「VR野球ゲーム」です。

「体を使って思い切り動くことができた」「ボールのコースが変わるので飽きない」など患者さんたちからの評価は上々です。開発した4年の金子侑樹さんは「患者さんは手が震える人が多く、選択するアイコンを大きくするなど配慮した」といいます。

鈴木教授は「VRシステムは、パーキンソン病の患者さんだけでなく、あらゆる人にとって有益であり、今後も進化し続けるだろう」と語り、さらなる開発研究を進めています。

今後、学園の教育DXはさらに加速し、学生によって新たなシステムが開発されていきます。

ほじかい
保二会

北陸電波学校・北陸電波専門学校・北陸電波高等学校・金沢工業大学附属高等学校

42人が親睦深める
「同窓のつどい」

「同窓のつどい」が令和5（2023）年9月16日、卒業生40人と恩師2人が出席して金沢市のテルメ金沢で開かれ、懐かしい仲間や恩師との久しぶりの再会を喜び合いました。開催は6年ぶりです。

最初に中野忠史会長が「短い時間にはなりますが、恩師を囲んで昔のことを思い出しながら交流を深めてほしい」と挨拶し、松田真一こぶし会会長が「10月には4年ぶりにこぶし祭を開催しますのでぜひ来てほしい」と挨拶しました。

この日は、曾谷外茂雄先生、奥田堅三先生の恩師2人も駆け付け、曾谷



早くも次回の「同窓のつどい」の開催を望む声も聞かれました

先生は「皆さんの元気な顔を拝見できてうれしい」、奥田先生は「60年ぶりに会う人もいて感無量な思いです」と話された後、懇親会がスタートしました。参加者たちは、恩師や級友との学生時代の思い出や近況を報告し合い、とてもにぎやかな会となりました。水野四郎副会長が中締めし、参加者全員が再会を誓いました。

保二会の歴史などを振り返る「保二会のあゆみ(仮称)」を2024年秋、発刊予定!

広告を掲載する
有志を募集します。

問い合わせ ● こぶし会事務局

高専同窓会

金沢工業高等専門学校、国際高等専門学校

金沢の建築文化は重層的

第17回金沢歴史探訪

第17回金沢歴史探訪は令和5（2023）年9月2日、金沢市の金沢歌劇座を中心に開かれ、受講者7人が建築の文化遺産が数多く残る金沢の魅力を再発見しました。

はじめに、金沢市企画調整課の八嶋一平さんが、金沢の建築についてク

イズ形式で講義を行いました。年間200万人が訪れる金沢21世紀美術館や、大規模改修を予定している鈴木大拙館、旧大和紡績跡地にある金沢市民芸術村など10施設を紹介。八嶋さんは「金沢は大きな震災に遭わず、藩政期の建築物が良好な状態で残り、近

現代の洗練された建築物が加わることで、重層的な街並みを形成している」と話しました。

続いて、加賀本多博物館に足を伸ばした一行は、本多家15代当主の本多政光館長の案内で館内を巡りました。本多正信の次男、政重が5万石から

10万石への加増を辞退した際に前田家から拝領した家宝「村雨の壺」のほか、織田信長からの書状など名品の数々に目を凝らしました。



金沢の代表的な建築物について学びました



金沢の多彩な建築について理解を深めた皆さん

KITホームカミングデーの参加者と親睦

機扇会交流会を開催

機扇会交流会は令和5（2023）年10月14日、KITホームカミングデーに併せて開催し、卒業50年を迎えた4人の卒業生のほか、中田政之会長や教職員ら17人が参加し、親交を深めました。

交流会では、お世話になった先生や職員および同期の教職員の話のほか、昔と今で大学の様子がずいぶん変わったなど昔話に花が咲き、楽しい時間が流れました。

機扇会では毎年交流会を企画しており、詳細は会報こぶしやこぶし会ウェブサイト以案内しておりますので、定期的にチェックしてみてください。

今後とも機扇会活動にご参加いただければ幸いです。

なお、前号の会報こぶしでご案内した情報工学科の山本知仁教授のAIに関する講演は、KITホームカミングデーのスケジュールの都合上、中止させていただきました。お楽しみにされていた方々にお詫び申し上げます。次回以降に開催できればと考えております。



交流会では旧交を温めました

告知



講演

大澤潤氏

令和6（2024）年1月20日（土）／第42回冬の異業種交流会

カーボンニュートラルと モビリティ・エネルギーシステム(仮)

会場：こぶし会多目的ホール（対面とオンライン併用のハイフレックス型式）

参加無料



経工会

第42回冬の異業種交流会は令和6（2024）年1月20日午前10時30分から、金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科の大澤潤講師が講演します。卒業生の方ならどなたでも参加できます。経工会およびこぶし会のウェブサイトから申し込んでください。

第41回異業種交流会報告

第41回経工会異業種交流会は令和5（2023）年9月2日、こぶし会多目的ホールで経工会会員のほか、松田真一こぶし会会長や野々市市監査委員らが出席して開かれ、学校法人金沢工業大学資金局長の澤田勝宏氏が「中小企業者に寄り添う公的支援制度の勧め」と題し、講演しました。

澤田氏は、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）の中小企業アドバイザーとしての経験か

ら、中小機構は、中小企業の支援に必要なネットワークを国や地方自治体、地域の団体等との間で構築しているとし、企業の成長と継続を後押しする「人・もの・金・情報」について複合的な支援として、①専門家派遣②海外展開支援③ビジネスマッチング④事業継続力強化支援⑤IT化支援一などは、費用が無料のものも多く、積極的に中小機構を利用することを勧めました。



「中小機構は中小企業を支援する日本で唯一の公的機関」と話す澤田氏。

最後に「こぶし会会員約7万人の卒業生がその組織力で日本の産業を支えていけるよう、同窓会のますますの結束を期待する」と締めくくりました。

こぼくかい
琥睦会

電気工学科・電子工学科・電気電子工学科・情報通信工学科・電子情報通信工学科

恩師を交えて絆深め

総会・懇親会

琥睦会の総会・懇親会は令和5(2023)年10月14日、金沢工業大学21号館で開かれ、大澤敏学長や退職・退任される先生方3人、OB・OGら62人が参加しました。

総会では、令和4(2022)年度事業報告及び令和5(2023)年度事業計画案を審議し、承認されました。

総会に続き、花岡良一先生が『金沢工大と共に歩んだ教育と研究50年』、坂本康正先生が『愛と電子回路』、前田正彦先生が『46年の研究生生活を振り返って』と題して退職・退任記念講演を行い、出席者は学生時代の講義を懐かしみました。

懇親会では大澤学長はじめ来賓の方々に参加いただき、家族連れの方も楽しい一時を過ごされました。出席者は来年も再会することを約束し、同窓の絆を深めていくことを誓い合いました。



懇親会に参加した皆さん



昔話に花が咲きました

予告

結成50周年記念式典を開催

- 日時/令和6(2024)年5月18日(土) 13:30~
- 会場/金沢工業大学(23号館2F)23・218室

琥睦会は令和6(2024)年5月に結成50周年を迎えます。これを記念して同年5月18日に記念式典を開催することとなりました。さまざまな楽しいイベントを準備しておりますので、皆さまの参加を心よりお待ちしております。

- 申し込みやお問い合わせはこぶし会事務局まで

※ 宿泊を検討している方へ
宿泊施設(OM5金沢片町by 星野リゾート)を
1泊11,000円~でご用意します。



こぶし会

5月18日(土)

- 13:30~ ● 令和6(2024)年度琥睦会総会
- 14:00~ ● 琥睦会結成50周年記念式典
- 15:00~ ● 各種イベント開催
- 記念講演会
『私の生き方考え方(日本企業と台湾企業での学び)』
講師/河本 崇氏(平成2年 電子工学科卒)
[ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社
センター長(バイスプレジデント)]
- 17:00~ ● 懇親会(21号館1Fラテラ)
会費:4,000円(家族同伴の場合、1家族で5,000円)

5月19日(日)

- 10:00~ キャンパス見学会

ながつき会

土木工学科・環境土木工学科

塩田有恒さん(昭和47年卒)が優勝

ながつき会ゴルフ大会

令和5(2023)年度ながつき会ゴルフ大会は同年8月19日、ゴルフクラブツインフィールズで開かれ、15人が参加し、塩田さんが優勝を果たしました。ダブルペリア方

式で行われたラウンドでは、「ナイスショット!」のかけ声が響く一方、ミスショットに悔しがれる姿も見られる、終始和気あいあいと楽しいプレーとなりました。



ゴルフ大会でプレーした皆さん

つみきかい
積木会

建築学科・居住環境学科・建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

完成間近の「金沢スタジアム」を見学

建築研修会

積木会の建築研修会が令和5(2023)年9月27日、会員14人が参加し、完成間近の新金沢市民サッカー場「金沢スタジアム」を見学し、来場者が見やすくなる工夫などに目を凝らしました。

熊谷ジョイントベンチャー（建設業における共同企業体）の竹本寛之作業所長と藤田洸介副所長から施設の概要の説明を受けた後、一行は早速、スタジアムを巡りました。

青々とした芝が張られたピッチでは、センターサークルに置かれたサッカーボールを前に、キックオフ前の選手の気持ちになりきったほか、普通は入れない選手の控室やミックスゾーン、記者席、放送室なども見る事ができました。また、観客席からピッチまでの距離は7～9m。全国でも有数の近さであり、選手の息遣いはもちろん、ボールを蹴る音まで聞こえそ

です。

客席の椅子のカラーデザインをランダム配置とし、空席でも賑わいを演出しながら、ピッチに近くなるほど黒とグレイを基調とし、サポーターで埋まるとスタジアム全体がチームカラーの赤色となるように考えられています。スタンドの擁壁や段床は現場製作PC材の活用するなど、工期短縮やコスト縮減、施工精度と品質アップの事例を学ぶことができ、スポーツ施設に対する繊細な設計手法や、創意工夫にあふれた施工・現場環境から、金沢市、ツエーゲン金沢、設計・監理、施工のチームが一体となって、完成というゴールを迎えた熱意に圧倒された研修会となりました。



建築研修会に参加した皆さん



VIP席からスタンドを眺めました

せんしょうかい
扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科

4年ぶりに懇親会を実施

「KITホームカミングデー」に併せ

扇翔会では令和5(2023)年10月14日、工大祭の「KITホームカミングデー」に併せて懇親会を実施しました。これまでコロナ禍の状況であったため、対面では4年ぶりの開催となりました。

初めに、情報工学科主任の山本知仁教授、メディア情報学科主任の出原立子教授から挨拶と各学科の近況報告がありました。その後、加原智彦会長から扇翔会の取り組みについて、在学生に対しての外

部講師による講演会の実施など、引き続き、先生方に協力をいただき、今後も実施したいとの依頼がありました。

懇親会には教員を含め15人の参加があり、参加いただいた先生方と終始和やかな雰囲気の中、活発な意見交換も行われました。来年も学園祭に合わせて懇親会を行う予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。



懇親会に参加した皆さん

令和5(2023)年度こぶし会全国支部代表者会議



例年にも増して活発な議論を交わしました



4年ぶりに全国の支部代表者らが集いました

効果的な連絡手段の検討を

SNSやメール、ハガキを併用

こぶし会全国支部代表者会議が令和5(2023)年10月14日、金沢工業大学23号館で開催されました。全国から支部代表者と支部委員ら約90人の会員が出席し、支部活動への参加の促進や会員相互の連携に欠かせない連絡手段の整備などについて検討しました。

会議では、松田真一こぶし会会長(大学・情報・昭和50年卒)が「4年ぶりに皆さんとお会いできてうれしく思います。卒業生の活躍は学園の名声を高めます。一人一人ができることを考えてほしい」と挨拶しました。続いて、泉屋吉郎理事長が「各県2人程度の地域枠による奨学金を創設する予定で、各県の企業などから寄付を募集して、その財源に当てたいと考えているので協力してほしい」と理解を求めました。

中橋勝美支部委員長(保二会・附属高・昭和41年卒)を議長に選び、令和4(2022)年度事業報告および令和5(2023)年度事業計画案を審議し、承認された後、各支部から事前に申し出があった提案・要望事項について討議されました。

各支部から活発な意見が出された中で、「会員への連絡手段の検討が必要ではないか」については、「メールは有効な連絡手段だが、アドレスを知るには手紙で教えてもらうしかない」という意見が出ました。また、「こぶし会のウェブサイトやインターネットの入力フォーム、SNSで、メールアドレスを収集してはどうか」などのアイデアも聞かれました。

また、支部総会に本部や事務局、大学の関係者が出席してほしいという要望がありました。さらに、「こぶし会活動の目標を共有することで、一丸となって進むことができる」とする積極的な提案もありました。最後に中野忠史こぶし会副会長(保二会・電波高・昭和38年卒)が挨拶し、閉会しました。



「以前のようなこぶし会活動が可能になるのも近い」と語る松田会長



「地方からの進学者が減ってきているので、各支部を巡っていききたい」と訴える泉屋理事長



会報こぶしのアンケートをインターネットの入力フォームで収集する案もありました



気軽に参加しやすいシステムの構築が欠かせないとする支部長もいました

支部長からの便り

卒業生の皆さん、徐々に日常に戻っていますか。しばらく顔を合わせてない支部の会員に向けて各支部長からのメッセージを送ります。

福岡支部 秋山 守吉 (大学・機械・昭和57年卒)

皆さんとともに、元気な支部にしていけたらと考えています。全国のこぶし会会員の方におきましては、福岡県に転勤される場合は、ぜひこぶし会事務局に連絡してください。福岡県での生活が楽しく過ごせるよう、お手伝いさせていただきます。

長崎支部 辻 政信 (大学・電気・昭和48年卒)

支部会員の増員が一番の課題となっています。長崎県は離島の数が全国一で南北に細長く、支部総会を開催するのもハードルが高くなっています。新卒者の返信はがきにコメントが記載されていたので、アタックして支部会員拡大に努めたいと思います。

熊本支部 耕 英一 (大学・建築・昭和52年卒)

支部長になって支部総会参加者数を3人から6人に増えました。何とか二桁に乗せたいと考えていますので、新卒者の参加を目指して活動を活性化させていきたいですね。新型コロナウイルス感染症も5類になりましたので、面白い事業を企画したいです。

大分支部 清水 禎治 (大学・土木・昭和57年卒)

昨年は久しぶりに全国一斉ボウリング大会に参加して盛り上がりました。新しい支部会員を一人でも参加してもらおうと頭をひねる毎日です。年齢の壁を超えて集まることができ、母校を愛し、誇りを持つ支部会員を増やしていきたいと意気込んでいます。

宮崎支部 川野 和彦 (大学・電気・平成13年卒)

今年度は支部活動に尽力いただいた先輩方からバトンを受け継ぎ、支部役員の改選を行いました。宮崎支部の人数は少ないですが、アットホームな活動を目指しています。宮崎県にいらなくても郷里を身近に感じる情報発信ができないか検討しているところです。

鹿児島支部 橋口 芳仁 (大学・土木・昭和47年卒)

ぜひ一度、支部総会に参加してほしいと願っています。そこから「見えてくるもの」があるのではないのでしょうか。あなたの力で鹿児島支部を活性化してってください。一人でも多くの支部会員と出会うことができる日を心待ちにしています。

沖縄支部 荷川取 学 (大学・電子・昭和63年卒)

現在、世代交代を検討しています。コロナ禍があったからこそ、支部総会や全国一斉ボウリング大会で皆さんに会えるのが楽しみです。年々、参加者が減る傾向にあり、若い支部会員に声をかけるとともに、盛り上げるために何ができるか考えたいと思います。

懇親会 歓談で深まった絆

全国支部代表者会議を終えた後、懇親会が行われました。古橋孝実こぶし会副会長(大学・建築・平成8年卒)が「いろんな年代の会員が層となって、学園の発展に力を尽くしたい」と挨拶し、崎本優宮崎副支部長(大学・機械・昭和47年卒)が乾杯の音頭を起りました。



頑張っています!支部会員

非加熱殺菌の日本酒を開発



愛媛支部の野島悠伺さん(大学・機械・平成28年卒)が今年4月、世界初の非加熱殺菌の果汁を混ぜたスパークリングの日本酒を開発しました。廃棄処分されるみかんを使うことでSDGsにも貢献しており、野島さんは「ネーミングは公募し、いつまでも愛される商品にしたい」と笑顔で語りました。

支部編

令和5(2023)年度ごし会支部総会開催報告

5月

- **福岡支部**
20日(土) 18:00～
海鮮市場 十徳や 博多筑紫口店
- **広島支部**
27日(土) 19:00～
ひろしま国際ホテル



6月

- **札幌支部**
3日(土) 18:30～
ジャスマックプラザホテル札幌
- **愛媛支部**
10日(土) 18:00～
ANAクラウンプラザホテル松山 桃園
- **茨城支部**
24日(土) 17:15～
喰処・飲処 てんまさ
- **富山支部**
24日(土) 18:30～
富山地铁ホテル11Fアルシェフ



7月

- **香川支部**
1日(土) 19:00～
海鮮居酒屋 神童ろ
- **宮崎支部**
1日(土) 19:00～
和膳旬彩つちや



Uターン・Iターンなど県内在住者に積極的に連絡を取ることや、SNSによる一括連絡と伝達事項の周知の迅速化を確認しました。

- **高知支部**
8日(土) 18:00～
割烹風居酒屋 酒菜 浪漫亭 高知本店
- **道東支部**
15日(土) 18:00～
帯広天然温泉 ふく井ホテル
- **青森支部**
15日(土) 18:30～
酒肴旬 三つ石
- **栃木支部**
15日(土) 10:00～
Zoomミーティング



- **福井支部**
15日(土) 18:00～
天然温泉コミュニティリゾート リライム

役員改選があり、支部長に真木秀憲さん(大学・電子・平成15年卒)を選び、副支部長や幹事も一新しました。

- **岐阜支部(岐阜)**
15日(土) 18:30～
割烹宮房



- **岡山支部**
21日(金) 19:00～
Ryoutei 奉還町本店

会員の親睦を図るため、バーベキュー大会やボウリング大会のほか、台湾への海外研修を企画しています。

- **岩手支部**
29日(土) 18:30～
楽蔵(RAKUZO)盛岡大通店



- **秋田支部**
29日(土) 17:00～
協和温泉 四季の湯

支部総会の開催に当たり、初めて宿泊を採用しました。参加者からは「これまでよりも親密になり、連帯感が深まる」との声が聞かれ、次回からできるだけ継続したいと考えています。

- **岐阜支部(高山)**
29日(土) 18:30～
居酒屋心介

- **京都支部(京都)**
29日(土) 18:30～
がんこ 高瀬川二条苑



8月

- **山梨支部**
5日(土) 18:00～
レストラン ニコラス

- **長崎支部**
31日(土) 18:30～
くわやき 大黒

9月

- **徳島支部**
23日(土) 18:00～
和風ダイニング どもん中

久しぶりの支部総会で、楽しいひとときを過ごしました。しばらく支部活動への参加がなかった方が出席されるなど「つながり」を大切にしたいと思います。

- **福島支部**
30日(土) 18:00～
スパリゾートハワイアンズ

10月

- **和歌山支部**
7日(土) 17:30～
勝喜楼

- **静岡支部(静岡)**
14日(土) 17:00～
海鮮と産地鶏の炭火焼 うお鶏



- **石川支部**
15日(日) 17:00～
ANAホリデー・イン金沢スカイ18F「トップオブカナザワ」

11月

- **山形支部**
3日(金・祝) 19:00～
ホテルリッチ&ガーデン酒田

- **京都支部(福知山)**
11日(土) 19:00～
食房 和楽

- **鳥取支部**
11日(土) 18:30～
ホテルセントパレス倉吉



支部総会に出席した皆さん



「より多くの方が活躍してほしい」と挨拶する米森支部長

持続的な支部の発展誓う 石川支部

石川支部の支部総会が令和5(2023)年10月14日、金沢市のANAホリデイ・イン金沢スカイで開かれ、こぶし会石川支部会員ら39人が出席し、持続的な支部の発展に向けて心をつにしました。

初めての開催となった支部総会では、最初に米森信夫支部長(高専・機械・昭和45年卒)が「今日が本

当のスタートだと思っている。22,000人を超える会員の皆さんに参加していただける企画を立てていきたい」と挨拶し、来賓を代表して松田真一こぶし会会長(大学・情報・昭和50年卒)が祝辞を述べました。

この後、令和4(2022)年度収支決算と監査報告、令和4年度事業報告および令和5年度事業計画案を審議し、承認されました。

懇親会では、勝木輝男副支部長(保二会・電波高・昭和40年卒)の発声で乾杯し、終始笑顔で歓談しました。

関東地区で30数年ぶりの開催 高専同窓会



高専同窓会に参加した皆さん

関東地区(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)高専同窓会が令和5(2023)年10月21日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で、卒業生20人が参加して開かれました。

最初に野中正樹会長(機械・昭和49年卒)が「30数年ぶりの関東地区同窓会を開催できたことがうれしい。この地区の会員の親睦を図るとともに、交流の輪を広げていきたい。今後も継続して開催していきたい」と挨拶しました。

懇親会では、思い出話や近況報告、自己紹介などで盛り上がり、校歌斉唱の後、西谷隆司副会長(電気・昭和53年卒)が閉会の挨拶をしました。

お知らせ

沖縄支部総会

令和6年(2024)1月27日(土)
18:00開催予定
会場未定

お知らせ

東海地区(岐阜・静岡・愛知・三重)
合同ゴルフコンペを開催

令和6年(2024)3月23日(土)
会場 額田ゴルフ倶楽部
(愛知県岡崎市)

新支部長紹介

東京支部長

香田祐毅氏

(大学・建築・平成21年卒)



福井支部長

真木秀憲氏

(大学・電子・平成15年卒)



支部編

令和5 (2023) 年度地区支部長会議

コロナ禍が明けて
活動が再開

令和5 (2023) 年度地区支部長会議が開催されました。6地区の支部長会議で議論した内容は、全国支部代表者会議に提案・要望事項として議論されることとなります。会議では、コロナ禍が落ち着きを見せたことから、活動再開に向けた協議となりました。

中国・四国地区

海外研修の実施を検討

中国・四国地区は5月28日、広島県広島市のひろしま国際ホテルで開かれ、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の支部長ら29人が出席しました。会議では各支部が活動報告をし、岡山支部は「第2回海外研修を実施したい。前回よりも日程を延ばす方向で検討している」、広島支部は「虎ノ門キャンパスを修了した卒業生が支部総会に参加した」、徳島支部は「お遍路ウオーク(半日)の開催を考えている」などと説明しました。出席者は会員増へ向け、活動の充実を図ることで一致しました。

東海地区

同窓会のメリットのPRを

東海地区は9月30日、三重県津市の津市勤労者福祉センターで開かれ、岐阜、静岡、愛知、三重の支部代表者ら10人が出席し、支部ごとに活動状況を報告しました。岐阜支部は「岐阜北部は参加人数が急増している」、愛知支部は「東海地区ゴルフ大会の開催を企画している。各ブロックで開催してもいいのではないか」、三重支部は「同窓会のメリットをもっとPRしてはどうか」などと話しました。出席者は、各支部がオリジナリティーのある活動をすることで、活性化につながるという認識で一致しました。

九州・沖縄地区

若い世代の参加を

九州・沖縄地区は7月23日、大分県臼杵市の臼杵湯の里で開かれ、福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄から支部代表者ほか15人が出席しました。会議では、熊本支部が「支部総会の開催時期を模索しており、若い世代が参加してもらう方法を模索している」、宮崎支部が「地元には会員がほとんどいないが、若いメンバーが中心に運営してほしい」と訴えました。各支部とも新規会員の獲得に苦戦しながら、活性化に前向きな意見が多く出されました。

東北・北海道地区

隣県の支部総会への参加を

東北・北海道地区は10月1日、福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズで開かれ、道東、札幌、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の支部長ら20人が出席しました。会議では、札幌支部が「メールアドレスを収集しているというハガキを出してはどうか」、秋田支部が「隣県の支部総会に参加してみてもどうか」「参加しやすいよう支部総会を年2回ほど開催したい」といった声が聞かれました。「試験的に函館付近の方を青森支部の支部総会に受け入れてもいい」という前向きな意見もありました。

関東地区

SNSなどの発信を検討

関東地区は8月26日、栃木県宇都宮市のホテル東日本宇都宮で開かれ、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、関東こぶし会から支部長ほか18人が出席しました。会議では、各支部の活動報告や要望などが出され、埼玉支部は「関東地区支部長会ができて、関東こぶし会との関係性を検討していく必要がある」、千葉支部は「SNSやQRコードを使った発信を検討したい」「支部総会を興味の沸くイベントにするにはどうしたらいいのか」といった建設的な意見が聞かれました。

近畿地区

こぶし会のネットワークを活用

近畿地区は10月7日、和歌山県和歌山市のシティイン和歌山で開かれ、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の支部代表者ら12人が出席しました。会議では、各支部が活動報告を行い、兵庫支部は「支部会員のメールアドレスを約100人把握しているので活用したい」、「こぶし会の会員情報のネットワークを利用することで会員の参加を促したい」、「支部長の若返りが急務ではないか」といった意見が聞かれました。また、個人情報保護の観点から電話連絡がしづらい状況があるとの声もありました。

こぶし会の国際交流支援事業

「成長できるかは自分次第」

国際高等専門学校と金沢工業大学が実施する国際交流プログラムに、こぶし会は支援を行っています。同プログラムに参加した学生が帰国報告会で成果を発表しました。



イギリス英語研修に参加した皆さん



大学での授業の様子



カンクール生産地の様子を視察



バンドン工科大学で成果発表

5つのプログラムが報告

今回、帰国報告会を行ったのは、「交換留学プログラム」「デュアルディグリープログラム」「イギリス英語研修」「HSHLサマースクール2023」「ラーニングエクスプレス2023」で、松田真一こぶし会会長(大学・情報・昭和50年卒)をはじめ、留学に興味のある学生などが出席しました。

やってから後悔を

交換留学プログラムに参加し、レスター大学で学んだ吾妻さんは留学を振り返り、「成長できるかは自分次第であり、自分で行動できる人が伸びていく」と語りました。また、後輩の学生に向けて「やらないよりも、やってから後悔を」とメッセージを送りました。

日本ではできない体験

ラーニングエクスプレスでは、学生がケンチュール(香りショウガ)栽培プロセスの改善と経営・経済的発展に取り組み、食事や宗教的慣習、現地の交通状況、衛生

事情の違いなど、現在の日本では体験できない生活を通じ、驚きや新たな発見の機会を得ました。

英語での応答に四苦八苦

また、イギリス英語研修で、レスター大学附属英語学校のELTUが主催する夏季短期プログラムに参加した学生は、英語でのプレゼンテーションに挑みました。「質問は英語での応答になるため、リスニングとスピーキングは必要になって難しかったが、よい経験になった」と語りました。報告会では、プログラムに参加した学生はいずれも、留学で得たプラスの経験だけでなく、自分自身に何が足りなかったのかも反省し、さらなる成長を目指して学習を続けていく決意を述べていました。





こぶし会に 新しい秋がやってきた!

コロナ禍前のイベントが復活

4年にわたったコロナ禍がようやく一段落し、
こぶし会の秋の行事がようやく再開されました。
新しい企画が登場するなど、
こぶし会会員や地域の方たちの笑顔と歓声が弾けました。



こぶし祭

節目の第20回は4年ぶりに開催!

10月15日の1日限定で復活

こぶし祭は令和5(2023)年
10月15日、金沢工業大学7
号館を中心に開かれ、今年初
めて実施した「こぶし会わくわ
くスタンプラリー」が家族連れ
らの人気を集めました。

こぶし庵

おいしいコーヒーでひと休み

こぶし祭本部には、お休み処「こぶし庵」を設
け、いれたてのコーヒーを用意しました。会場
の休憩スペースでは、コーヒーを飲みながら
談笑する姿が見られました。



コーヒーを求めてにぎわいました



工大祭

地域とのつながりを大切に

第56回工大祭は令和5(2023)年10月14、15日に開かれまし
た。今年のメインテーマは「UNLIMITED」で、コロナ禍の制限が
緩和されたのを機に、学生と地域の方とのつながりをより一層大切
にしていきたいとの願いが込められています。今年は、21の模擬
店が出店し、お好み焼きや焼きそば、焼きとりなどの店に行列がで
きました。



こぶし会わくわくスタンプラリー

1等が当たって
ニコリ

ガラポンの玉の色に一喜一憂!

こぶし祭の復活を記念して行われたのがスタンプラリーで、スタンプは、工大祭本部、1号館入口、こぶし祭本部の3カ所に置かれました。3つスタンプを集めるとガラポンを回すことができ、参加者は1等の賞品を目指してガラガラ。なかなか出ない金色の玉が出ると、「1等!」のかけ声とともにハンドベルが鳴り響き、当選者はとびきりの笑顔を見せました。



ガラポンを回すと何色の玉が出るか、ドキドキです

保二亭

苦みもさわやかな抹茶で一服

保二会が主催した「保二亭」では、生菓子和抹茶を来場者に提供しました。お点前は、野々市市茶道協会の竹澤和枝会長ら4人が担当し、秋らしい掛け軸や短冊が飾られました。茶碗は保二会会員が手作りしたもので、味のある作品ばかり。訪れた人たちは、上品な生菓子里に舌鼓を打った後、きめの細かい泡が立った抹茶を飲みました。



抹茶を飲むのは初めてという子どももいました



ゆったりとした気分で抹茶を楽しみました



スタンプスポットが各所にあるので、自然とキャンパス内を巡ることになります

令和5(2023)年度
こぶし会
ゴルフ大会

54人が全カプレー

中村恵司さんが優勝!

(高専・機械・昭和57年卒)

ベストグロスは田中義直さん

(大学・機械システム・平成4年卒)



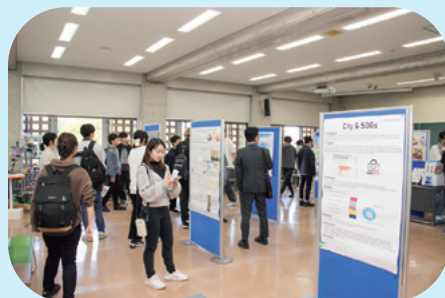
第25回こぶし会ゴルフ大会は9月9日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部日本海コースで開かれ、会員ら54人がゴルフを通じて親交を深めました。ナイスショットを連発する参加者がいる一方、ミスショットのため息をつく参加者もあり、一打一打が真剣勝負。中村さんが優勝(ネット72.2)、ベストグロスは79で田中さんでした。

高専祭

授業の成果などを展示

第58回高専祭は令和5(2023)年10月14日に金沢工業大学8号館で行われました。授業やSTEM教育*、ニュージーランド留学のポスター展示があり、「都市とSDGs」をテーマにした研究も紹介されたほか、学生がブランド化を進めているサツマイモ「高専紅はるか」のマスコットキャラクターグッズが入ったガチャポンも置かれ、注目を集めていました。

*STEM教育は、S=Science(科学)、T=Technology(技術)、E=Engineering(工学)、M=Mathematics(数学)を統合して学ぶ教育のことです。



[大学]

卒業50年セレモニー
&
ホームカミングデー

大学を卒業してから50年

37人に記念品を贈る

金沢工業大学の卒業50年セレモニーとホームカミングデーは令和5(2023)年10月14日、機械工学科、電気工学科、経営工学科、土木工学科の卒業生37人が出席して開かれました。

セレモニーでは、昭和46(1971)から昭和49(1974)年までの卒業生が全国から集まりました。初めに大澤敏学長が「これからも先輩方の力添えをたまわりたい」、古橋孝実大学同窓会会長(大学・建築・平成8年卒)が「学園への思いを一層強めてほしい」とそれぞれ挨拶しました。出席者を代表して米田徹さん(大学・土木・昭和46年卒)が「学生の方々のたゆまぬ努力に期待したい」と感謝の言葉を述べました。

ホームカミングデー

110人が参加し、旧友との再会を喜びながら、思い出話に花を咲かせていました。

機扇会



琥睦会



経工会



ながつき会



出席者から一言



**教育と研究を充実して
発展を**

奥村猛さん
(機械・昭和47年卒)

卒業後も石川憲一名誉学長には優秀な卒業生を紹介いただき就職でお世話になりました。母校には、さらに教育と研究の内容を充実し、大きく発展してください。



**素晴らしい学生を
育ててほしい**

桜井渉さん・丸山一男さん
(いずれも電気・昭和48年卒)

卒業以来、久しぶりに会う同級生もいました。何もなかった昔のキャンパスと違って、今のキャンパスは本当にすごいですね。素晴らしい学生が育つのを願っています。



**地域のために
役立つ大学に**

石森良洋さん
(経営・昭和46年卒)

今の私があるのも大学のおかげで、世の中のためになることをやろうという気持ちにさせてくれました。これからも地域のために役立つ大学であってほしいと思います。



**100歳まで頑張る
原動力に**

北岸正彦さん
(土木・昭和46年卒)

懐かしい仲間と再会し、学生時代に戻ったような気分です。セレモニーは思い出になり、頑張ろうという気持ちが湧いてきました。100歳までに何か成し遂げたいですね。

[国際高専]

ホームカミングデー

懐かしい仲間と再会

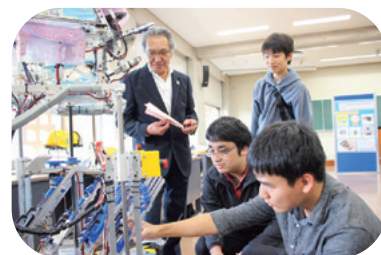
工大キャンパスで併催

高専祭に合わせた国際高専ホームカミングデーは令和5(2023)年10月14日、金沢工業大学8号館で行われ、卒業生32人が次々と会場を訪れました。久しぶりに顔を合わせた仲間と卒業アルバムを見ながら、当時の記憶を思い出し、南校地の校舎の建物が残っていて懐かしいと話す卒業生もいました。

在学中に高専ロボコンに出場した若松大暉さん(電気・平成29年卒)と山岸佑さん(機械・令和2年卒)は、展示されていたマシンを見た上で、「国際高専の後輩がたった3人で作った昨年のマシンはすばらしい。国際高専に変わっても金沢高専らしさを受け継いでほしい」と話しました。

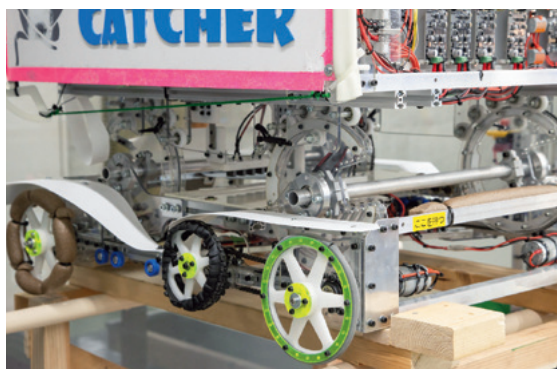


「こんなにすごい施設がそろっている」と驚きの声も



マシンの状態を確認する2人

起業家育成に向けて設備機器を整備



今年の高専ロボコンに出場したマシン（下）には、レーザー切断機（上）で作られましたパーツが使われました

自主的にものづくりに取り組む

国際高専は、文部科学省の「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」に選定されたのを受け、令和5（2023）年度に学生のアイデアを商品として具体化できるハードとソフトの環境を整えました。

この事業は「ものづくり」×「AI」×「課題解決」によるイノベーションの推進を目指すものです。国際高専では、起業家精神を養う工房として「イノベーションラボ」を整備しました。

イノベーションラボには、3Dプリンターやレーザー切断機などの設備機器がそろっており、学生のアイデアをより早くに

することができます。

特にCNC旋盤は、市場で流通する自動車と同じ部品を加工することができます。さらに、人間の動きを数値化するモーションキャプチャーを導入し、学校のプロモーションにCGを使ったり、石川県白山市の国指定重要無形民俗文化財「尾口のでくまわし」の伝統芸能の保存などに利用したりすることを検討しています。

このように、自主的にものづくり・コトづくり活動を行うイノベーションラボによって、チャレンジ精神に富んだ起業家を生み出します。

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトで2問を出題

クイズの学園 VOL 24

会報こぶしとこぶし会ウェブサイトが連動して、クイズを出題します。応募するにはそれぞれの答えが必要ですので、注意してください。

第1問 会報こぶし(73号)からの出題

学園の●●がDXで変わる

誌面の中から当てはまる言葉を探してください。

第2問は **こぶし会ウェブサイト** で出題 →



こぶし会

■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードに、会報こぶしとこぶし会ウェブサイトを出題されたクイズの答え2つを記入してお送りください。正解者の中から抽選で20人の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。



■ 締切

令和6(2024)年
4月3日(水)当日必着

■ 発表

正解は令和6(2024)年4月8日(月)にこぶし会ウェブサイト上で発表します。

こぶし会

検索

当選者が
20人に!!

こぶし会 ウェブサイト 活用法



こぶし会

こぶし会ウェブサイトには、イベントなどの最新情報や校歌・学園のあゆみ、全国の支部の紹介など、会員の皆さんに活用していただきたい機能が充実しています。



■ まずは「NEWS | お知らせ」をチェック!

トップページにある「NEWS | お知らせ」は随時、更新しており、ウェブサイトを訪れたなら、まずはここをチェックしよう!

■ 「よくある質問」は情報の宝庫!

金沢工業大学、国際高専の各種証明書のリンクが貼られています。

卒業証明書 / 修了証明書、成績・単位修得証明書、電気主任者単位修得証明書など。



卒業後もライブラリーセンター (LC) が使えます。



こぶし会会員は卒業後もLCを利用できます。LC1階インフォメーションカウンター、もしくは郵送で利用申請してください。申請にはカラー写真が必要となります。詳しくはLCウェブサイトの卒業生の方へのご案内をご覧ください。

同窓会に参加したい方へ。

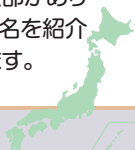
都道府県ごとに開催される支部総会などの案内ハガキが届きますので「出席」を選んで返信してください。または、こぶし会事務局までご連絡ください。

住所変更もできます。

ウェブサイトに住所変更などの依頼フォームがありますので申し込みください。本人確認をさせていただいた上で修正いたします。

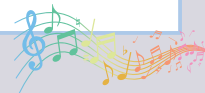
■ 全国の各支部を紹介しています!

北海道から沖縄県まで全国47都道府県に49支部があります。このページでは、顔写真付で各支部長の氏名を紹介するほか、支部会員へのメッセージを掲載しています。



■ 校歌・学園のあゆみが視聴できます。

学園歌、高校校歌、高専校歌、大学校歌が再生でき、歌詞も掲載しています。また、大学のホームカミングデーで上映された「金沢工業大学50年のあゆみ」も視聴できます。



● Topics

過去の会報こぶしがPDFでご覧いただけます。もう一度見たい号がありましたら、クリックするとPDFが開きます。



PLUS
高専

18年ぶりに金沢工業大学で開催

高専ロボコン 2023 東海北陸地区大会

高専ロボコン2023東海北陸地区大会は令和5(2023)年10月29日、金沢工業大学第2体育館で開かれ、出場した国際高専2チームはいずれも1勝1敗で全国大会出場はなりませんでした。同大学で東海北陸地区大会が開

かれたのは18年ぶりです。

今年の課題は「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」で、障害物を乗り越え、収穫したフルーツの点数で競いました。国際高専Aチームは宇宙からやってきたクレーンゲーム屋をテーマにした

「OFU-CATCHER」、国際高専Bチームは精度の高い収穫・運搬能力を備えた「SIRIUS」で試合に臨みました。

両チームとも初戦を勝利。決勝進出がかかった第2戦では、鳥羽商船高専Bチームと対戦した国際高専Aチームが、試合終了のブザーとともに逆転を許したほか、国際高専Bチームが1点差で惜しくも予選敗退となりましたが、それぞれ特別賞を受賞しました。



写真左：950人を超える観客が駆けつけた会場
写真右：最後まであきらめずに戦う高専生

PLUS
大学

自動操縦部門で優勝。

第19回全日本室内飛行ロボットコンテスト

「第19回全日本室内飛行ロボットコンテスト」が令和5(2023)年9月22日から3日間、東京都の日本工学院専門学校蒲田キャンパス片柳アリーナなどで行われ、金沢工業大学夢考房小型無人飛行機プロジェクトが自動操縦部門で優勝しました。

自動操縦部門には、8チーム(大学6チーム、高専2チーム)が参加し、250gという制限機体重量を守った上で、①帰還の有無②ミッション③機体の特性および自動操縦装置の性能の3つの総合点を競います。

夢考房チームの「R1270」は、昨年度の機体をベースに、翼の大型化や胴体構造、電装系統を見直したことで、飛行の安定性と信頼性の向上に成功した上、軽量化も実現しました。

ソフトとハード面でトラブルに見舞

われましたが、予選を1位で通過し、決勝で東京大学、東京農工大学などライ

バルチームを抑え、4年ぶり4度目の優勝を果たしました。



優勝した夢考房チームのメンバー

新・寄付者銘板の掲載

新年明けましてお目出とうございます。こぶし会の皆様方には希望に満たした初春をお迎えになられたこととお慶び申し上げますと共に、本年も宜しくお願ひ申し上げます。

本学園が長年に亘って「工学アカデミアの建設」を目指して鋭意活動してきておりますことは、会員の皆様にはこぶし会報などを通じて順次お伝えして参りました。その結果、取り分け「特別奨学事業」「夢考房プロジェクト事業」「教育研究の充実」等の活性化に対して崇高なるご寄付を戴き、衷心より感謝申し上げます次第であります。

さて、この度「新・寄付者銘板」に掲載された表敬訪問先企業の事例をご紹介致したく思います。令和5年4月に訪問した石川県金沢市に所在する上場企業(株)システムサポート様には、現在までに卒業生59名が在職し活躍のフィールドを与えて戴いている御礼と特別奨学事業を中心とする工学アカデミアの建設への協力を依頼致しました。ご対応戴いた代表取締役社長小清水良次氏からは「今日、当社が上場企業として発展できたのも、偏に貴学園出身者を始めとする社員の努力に他なりません。そこで、私が所有する株式の一部を譲渡し寄付事業に特化する財団を設立致しましたので、その第一号として貴学園に寄付致しましょう。」と力強いお言葉を戴きました。そして同財団は令和5年度の銘板掲載企業となられたのであります。

私はこのようなご芳志に心から感謝しながら、学園を巣立った卒業生各位が其々の地域に於いて力強く活躍し、その発展に貢献していることを実感すると共に工学アカデミアの建設への協力を衷心よりお願い致したく思っております。

茲で、新たに寄付者銘板の複層化が行われた結果、法人寄付企業170社の内、15社はこぶし会会員の方が代表取締役社長を務めておられます。また、個人寄付者121名の内、こぶし会会員の方は45名を数えております。

尚、新・寄付者銘板に掲載の寄付者に関しては、ご芳名を本学5号館1階・5.101教室の前面に掲示すると共に、学園ウェブサイトにも掲載してあります。

次に、前会報72号に引き続いて令和5年4月1日～令和5年9月30日までに戴いたご支援やご協力に謝意を表すために、ご寄付を賜った方々のご芳名を五十音順に下記のように掲載させていただきます。

寄付者名一覧

令和5年4月1日～令和5年9月30日
(敬称略・五十音順)

【大学同窓会】青木覚、秋山恵一、浅香憲一、池野裕一、石井靖彦、伊藤康紘、岩井俊和、江川英二、遠藤茂、及川周平、大島正敬、太田恵、沖野圭吾、奥田敦司、奥野靖幸、奥村久美子、織田英也、加瀬達志、鳥谷伸、川並真武、川向義朗、川本規央、木崎秀人、北村和光、楠美大輔、黒田健宗、鴻巣研一、古川雄康、齊藤盛雄、坂野信夫、坂本誠二、崎本優、佐々木寛治、佐藤光一、佐藤恒、猿渡弘之、嶋田大輔、島田敏男、清水隆幸、下里守、杉本栄三郎、鈴木誠一、鈴木仁、関恒男、善田善彦、千徳英一、高尾浩徳、工慎一郎、橘寿一、橘守、谷口勝則、田村崇、辻政信、津田政明、富樫秋平、中川博文、中嶋登、中田孝幸、中田政之、中村信一、中村進、新津良久、西田恵一、西田康博、野口啓介、芳賀啓一、比佐勝明、飛田憲一、百万光生、廣瀬陽一、藤原和也、前川峰範、前田正英、政谷敏子、松浦正人、松田真一、松本正裕、南政博、宮嶋忠、宮村壽、麦谷彰彦、村瀬一也、本志郎、



石川 憲一

特別奨学事業寄付金募集委員長
金沢工業大学名誉学長

森内忠良、森本喜一郎、安原卓、安本昇、山岸敬広、山田昇、山本悠太、山本良二、吉沢潤也、吉高省三、若林正樹、脇坂美樹雄、渡辺悦史

【高専同窓会】生駒寛、小中博之、塩谷善智、野中正樹、馬場敢太郎

【保二会】加藤恭子、川東一夫、中橋勝美、中村勝三、福光憲征、水野四郎、南茂治

(全144名、うち匿名36名)

【卒業生経営による企業】

(株)イッセイ、(株)エトロンシステム、コーセル(株)、小松パワートロン(株)、(株)滋賀山下、(株)高田組、(株)タクミナ、(株)玉家建設、(株)トモ、長野ポンプ(株)、(株)中本鉄工、日建コンサルタント(株)、(株)峰山建設、山一精工(株)、(株)山岸建築設計事務所、(株)山岸設備設計事務所(全18企業、うち匿名2企業)

末筆ながら、本学園は工学アカデミアの達成に向けて、これからも邁進致して参りますので、こぶし会の皆様方には一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

寄付者銘板掲載基準

| | 名称 | 法人・団体 | 個人 |
|---|--------|-------------|------------|
| 1 | 栄誉功労顕彰 | 30,000 万円以上 | 3,000 万円以上 |
| 2 | 特別功労顕彰 | 10,000 万円以上 | 1,000 万円以上 |
| 3 | 功労顕彰 | 5,000 万円以上 | 500 万円以上 |
| 4 | 特別功績顕彰 | 1,000 万円以上 | 100 万円以上 |
| 5 | 功績顕彰 | 100 万円以上 | 30 万円以上 |

サポートします!

こぶし会同窓会応援

こぶし会では、卒業生のクラス会や研究室(ゼミ)、部活動等の同窓会を支援しています。

支援内容

●1団体(会員が30人以上参加)ごとに1人500円相当の記念品が支援金のいずれかを提供します。



宮野靖・中田政之研究室
46周年同窓会



宮里心一研究室開設
20周年同窓会



石川県庁金沢工業大学
卒業生同窓会



出村公成研究室
25周年祝賀会



宮野靖研究室

●問い合わせ こぶし会事務局

鎮魂 (敬称略)

下記の方々がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<特別会員>

令和5年 7月 佐藤 守

10月 金原 繁

<正会員>

佐藤 悦弘
(大学・電気・H2)

松本 昭彦
(大学・経営・H4)

北野 外志夫
(大学・機械・S47)

小田 薫
(大学・土木・S52)

中野 寿一
(保二会・工大附専・S44)

丹羽 宏
(大学・機械・S51)

開 雅一
(保二会・工大附・S47)

田中 康文
(保二会・電波高・S39)

中村 静夫
(保二会・電波専・S33)

大久保 利光
(大学・建築・S52)

中土 邦夫
(大学・経営・S47)

平成28年

嶋田 洋文
(大学・経営・S49)

令和2年

田中 寛人
(大学・機械シス・H10)

1月 鈴木 由夫
(大学・土木・S54)

3月 谷内 興三郎
(保二会・工大附・S45)

令和3年

榎 憲恭
(大学・電気・S47)

6月 小石 寿夫
(保二会・電波専・S32)

7月 安田 健治
(高専・電気・S62)

藤吉 浩
(大学・電子・S62)

8月 鈴木 貞衛
(大学・情報処理・S52)

10月 高山 雅顕
(大学・経営・S57)

12月 石田 雄二
(保二会・電波専・S35)

令和4年

餌取 宏明
(大学・情報・H22)

山下 宏也
(保二会・電波高・S40)

1月 檜崎 功
(大学・土木・S54)

5月 鈴木 雅哉
(大学・情報・H2)

上坂 勉
(大学・経営・S51)

6月 松谷 克明
(保二会・電波専・S33)

8月 杉浦 俊雄
(保二会・工大附・S41)

横尾 尚幸
(大学・機械・S59)

10月 葛 雅毅
(大学・経営・S54)

青山 信雄
(高専・電気・S44)

鈴木 照夫
(保二会・工大附・S42)

11月 上野 徹也
(大学・機械・S50)

12月 川尻 和弘
(大学・経営・S57)

岡本 和也
(修士・建築学専攻・S61)

神田 敬一
(大学・建築・S60)

令和5年 1月 上田 一吉
(保二会・電波高・S37)

小泉 和也
(大学・建築・S60)

2月 浜田 明俊
(保二会・工大附・S42)

橋 忠夫
(保二会・電波・S35)

山口 五十男
(高専・機械・S45)

大学・機械・S47

朴木 修侍
(大学・土木・S52)

3月 鍋谷 健太
(大学・応用バイオ・H30)

4月 大音師 昭夫
(保二会・工大附・S41)

竹内 理
(大学・土木・S50)

藤平 誠一
(修士・高信専攻・H21)

5月 酒井 直則
(保二会・電波・S35)

6月 斎藤 修一
(大学・建築・S57)

竹原 順作
(保二会・工大附・S42)

太田 恵
(高専・電気・H5)

山下 英治
(大学・経営・S51)

北島 明
(高専・機械・S43)

井上 勝仁
(大学・土木・S59)

奥村 力夫
(大学・電子・S51)

長田 暢也
(大学・機械・H3)

吉川 敏弘
(保二会・電波高・S37)

7月 市川 勝彦
(大学・建築・H元)

北島 和雄
(保二会・電波高・S40)

玉井 清宏
(保二会・電波高・S39)

8月 外崎 成美
(大学・電子・S50)

三上 耕一
(大学・建築・S50)

9月 今井 要
(大学・経営・S49)

佐藤 守

高専名誉教授 逝去

令和5(2023)年7月23日、逝去。87歳。昭和38(1963)年に金沢高専講師に着任し、北陸電波高等学校教諭も兼務しました。金沢高専助教授を経て、昭和57(1982)年に教授に昇任されました。45年の長きにわたり、教員のロールモデルとして職務に当たられました。



皆さんの声をお寄せください!

会報委員会では、「こんな特集が読みたい」など会員の方のご意見、ご要望を「会報こぶし」の制作に反映させていただきますので、事務局までお寄せください。また、連絡が取れなくなっていた卒業生の情報がわかりましたらお知らせください。

※インフォメーションカード、ホームページのお問い合わせ、こぶし会のE-mail等でお寄せください。

編集後記

◆DX(デジタルトランスフォーメーション)や生成AIなど、身の回りでデジタル化が進んでいます。今号で特集したように、学園の教育現場でもDXなどを取り入れ、講義や研究が進化しています。情報技術の進展によって、各学科はデジタル分野への対応に迫られるのだと思います。学園が国内外でも有数の最先端の教育が受けられる高等教育機関として成長することを期待します。

◆令和5(2023)年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行しました。それによって、日本は日常生活を取り戻してきたように感じます。令和5年度のこぶし会活動を振り返れば、各地で支部総会が開かれたほか、4年ぶりにこぶし祭を開催するなど、コロナ禍前の状況に戻ってきたと喜んでいます。苦しい時期を乗り越えた今、新しいこぶし会活動を始める時だと思います。/記T.N

第27回

全国一斉ボウリング大会 BOWLING

230人が熱投!

第27回全国一斉ボウリング大会が令和5(2023)年11月3日から11月18日にかけて全国19支部21会場で開催され、会員129人、家族101人が熱投を繰り広げました。大会では、ストライクやスペアを連発する参加者もあり、「久しぶりなのに絶好調」と笑顔を見せていました。会員の部では、中村さん(福井会場)が420点、家族の部では西田裕美さん(富山会場)と前田令子さん(能登会場)が366点で、それぞれ優勝の栄冠を手に入れました。



【成績】 中村浩二さんが優勝!

(大学・土木・昭和63年卒)

会員の部

- 👑 優勝 420点 福井会場 中村浩二さん (大学・土木・昭和63年卒)
- 👑 2位 406点 岐阜会場 佐藤直樹さん (大学・建築・平成3年卒)
- 👑 3位 393点 和歌山会場 南本好民さん (大学・土木・昭和49年卒)
- 4位 352点 富山会場 藤畑総司さん (大学・電気・昭和49年卒)
- 5位 352点 福島会場 坂本誠二さん (大学・機械・昭和53年卒)

家族の部

- 👑 優勝 366点 富山会場 西田裕美さん
- 👑 優勝 366点 能登会場 前田令子さん
- 👑 3位 356点 金沢会場 酒本慎二さん

※スコアは2ゲームのトータルです。
 ※会員の部で同点の場合は、年長者が上位となる。
 ※家族の部で同点の場合は、両者とも同順位となる。
 ※入賞者はこぶし会ウェブサイトに掲載しています。



団体・業者からのDMや電話にご注意ください!

こぶし会では、団体・業者への名簿の提供および寄付や商売の斡旋は一切行っていません。もしも、自宅や勤務先などに業者等からダイレクトメール(DM)や電話があった場合には、金沢工科大学同窓会とは無関係ですのでご注意ください。

【金沢工業大学を卒業の皆様へ】 各種証明書発行について

令和4(2022)年1月より、卒業証明書、修了証明書などの証明書がコンビニエンスストアでも受け取れるようになりました。コンビニエンスストアでお受け取りになれる証明書、発行手数料、卒業年度などにつきましては条件がございます。詳細につきましては、本学ウェブサイトでご確認ください。

- 卒業生の方への各種証明書発行に関するご案内
<https://www.kanazawa-it.ac.jp/shoumei/>



金沢工業大学

こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7(1995)年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**

80,000人を超える会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)

お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードにご記入の上ご返送ください。

対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会 令和6(2024)年3月末日で40歳以上の会員
- 大学同窓会 令和6(2024)年3月末日で40歳以上の会員

*会費の納入は80歳までとさせていただきます。
 *令和2(2020)年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、令和5(2023)年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

こぶし会
事務局

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内
 TEL.076-294-6375 (直) FAX.076-294-0886
 Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.https://www.kobushi.jp



こぶし会